

わたしと看護

Vol.12

婦人科病棟 4年目

患者が自分らしく過ごせるように

私は入職してから婦人科で4年間看護師として働いています。婦人科病棟には手術を受けられる方、抗がん剤治療、放射線治療を受けられる女性の患者さんがいます。

抗がん剤の種類によっては、髪の毛や眉、まつ毛が抜けたり、爪のトラブルが起きたりなど、女性にとっては辛い副作用が起きることもあります。

私は、そんな患者さんが治療をしながらも自分らしく、今までの生活を送ることができるよう、治療前からヘアピランスクエア(外見に対するケア)について説明を行ったり、一緒にウィッグを見学したりしています。そうすることによって、患者さんが安心して治療を受けることができるように支援することも看護師の大切な役割であると考えています。患者さんが、治療を終えて笑顔で帰っていくところを見ると、私もとても嬉しい気持ちになります。これからも患者さんの一番近い存在としていつでも頼れる存在でいられるように日々精進していきたいです。



後輩ヘアピランスについてレクチャー